特集 INTERNATIONAL PORT OF IMARI

『今』も『昔』も世界とつながる

# 知っていますか？国際貿易港 伊万里港

●問合先　伊万里湾総合開発・国道対策課港湾振興係（☎㉓２４６６）

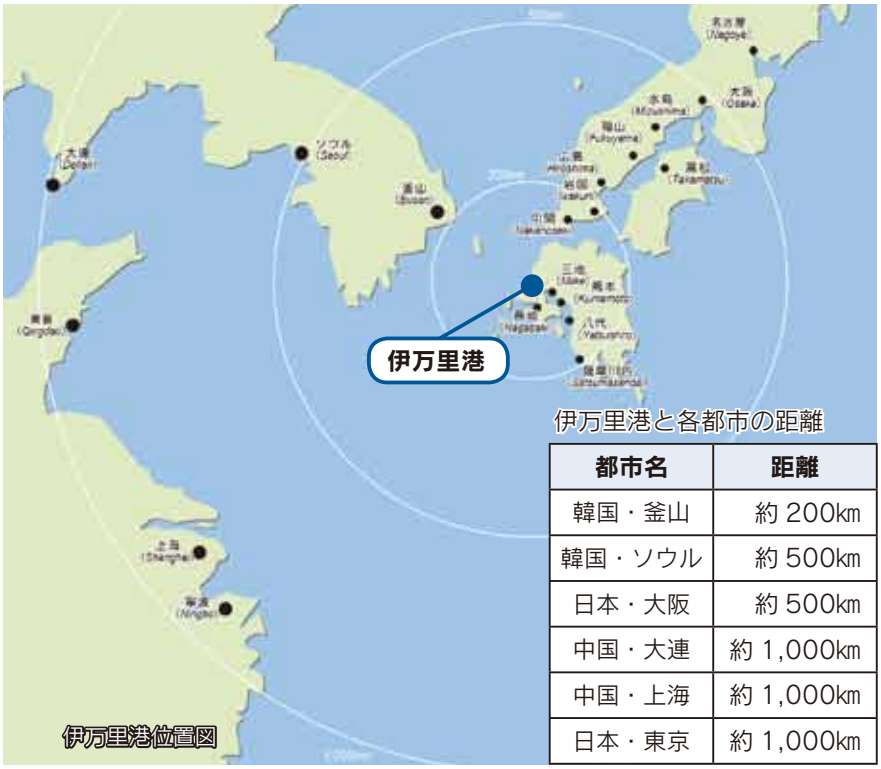
古くは焼き物の積み出し港として栄え、現在は国際的な物流の拠点としての役割を担っている『伊万里港』。来年は貿易港としての開港指定から50年を迎えます。今回は、その歴史的な背景から現在に至るまでの役割の変遷を通じて、可能性を大きく秘めた伊万里港の未来を考えます。

## 伊万里港の位置

伊万里港は、九州の北西部に位置しています。韓国の釜山港までの距離は約２００キロメートル、中国の上海港までは約１０００キロメートル。これは、日本の他の港湾と比較して東アジアに近く、海上輸送において圧倒的な地理的優位性を持っているといえます。

また、伊万里湾の奥部に位置しており、周囲を東松浦半島や西松浦半島、福島で囲まれていることから、水深が深く静穏な天然の良港です。

このような地理的・地形的な優位性によって、古くから大陸貿易の基地として発展してきました。




伊万里港位置図

伊万里港と各都市の距離

| 都市名 | 距離 |
|---|---|
| 韓国・釜山 | 約 200km |
| 韓国・ソウル | 約 500km |
| 日本・大阪 | 約 500km |
| 中国・大連 | 約 1,000km |
| 中国・上海 | 約 1,000km |
| 日本・東京 | 約 1,000km |

## 伊万里港の歴史

### ■縄文時代…黒曜石を通じた中国大陸との交流

約3000年前の縄文時代には、黒曜石が石槍や矢じりなどの材料として使われていました。西日本や朝鮮半島では、伊万里の腰岳産の黒曜石が発見されています。このことから、縄文時代に伊万里から船で運ばれ、中国大陸との交流が行われていたといわれています。

### ■江戸時代…焼き物の積み出し港として発展

伊万里港の最奥部には、伊万里川と有田川の2つの河川が注いでいます。このうちの伊万里川河口部からは、肥前陶磁器の積み出し港として、17世紀後半から18世紀にかけて多くの焼き物が、遠くはヨーロッパまで積み出されました。これらは、『古伊万里』として世界に知られています。

↑焼き物を積み出していたころの伊万里津

### ■大正～昭和20年代…石炭産業の隆盛と伊万里市誕生

大正時代以降の石炭産業の全盛期には、石炭の積み出し港として大いに栄えました。

昭和26年には、国の海上輸送網の拠点となる『重要港湾』に指定されています。さらに、昭和29年には伊万里湾を囲む2町7村が、伊万里湾の開発を進めることを目標に合併し、伊万里市が誕生しました。

### ■昭和30年代…工業団地などの開発が本格化

昭和30年代になると、国のエネルギー政策の転換によって、石炭産業が衰退しました。石炭の積み出しが減るにつれ、港の勢いも低下してしまいます。しかし、昭和30年代後半以降、伊万里湾の開発が本格的に始まり、港湾施設や臨海部の工業団地が整備されました。企業の誘致を積極的に行った結果、木材加工業や造船業などの企業が立地するなど、工業港として発展していきます。

久原北地区においては、原木、石炭、砂利・砂などの貨物の取り扱いが行われるようになりました。久原南地区では、伊万里団地が造成され、水産や木材関連企業、半導体の大手企業などが進出。七ツ島地区では、七ツ島工業団地が造成され、造船業などの企業が進出しました。

現在、市内企業の製造品出荷額は県内でも一、二を争う状況にあります。

### ■昭和40年代…国際貿易港としての機能を強化

昭和42年には国から『開港指定』を受け、外国貿易が可能となりました。さらに、同年9月に木材輸入特定港、11月には出入国管理港、昭和46年10月には検疫港として指定。このことにより、世界に開かれた国際港として位置づけられました。

### ■平成9年…コンテナターミナルが供用開始

七ツ島地区では、平成9年4月に伊万里港国際コンテナターミナルが供用を開始し、韓国・釜山港との間に国際コンテナ定期航路が開設されました。また、平成25年4月には作業効率が飛躍的に上がるガントリークレーンを備えた水深13メートルの岸壁が供用を開始しています。

### 伊万里港の変遷

| | |
|---|---|
| ● 縄文時代 | 黒曜石の積み出しに利用される |
| ● 江戸時代 | 『古伊万里』の積み出し港として栄える |
| ● 大正時代 | 石炭の積み出し港として栄える |
| ● 昭和 26 年 | 『重要港湾』に指定 |
| ● 昭和 30 年代 | 工業団地などの開発が本格化 |
| ● 昭和 42 年 | 貿易港としての『開港指定』 |
| ● 平成　9年 | 伊万里港国際コンテナターミナル供用開始 |
| ● 平成 15 年 | 伊万里湾大橋供用開始 |
| ● 平成 22 年 | 『重点港湾』に指定 |
| ● 平成 23 年 | 『日本海側拠点港（国際海上コンテナ拠点港）』に選定 |
| ● 平成 25 年 | コンテナターミナルに水深 13メートルの岸壁とガントリークレーンが供用開始 |

## コンテナターミナルの概要

伊万里港国際コンテナターミナルは佐賀県で唯一のコンテナターミナルであり、佐賀県をはじめとして長崎県や福岡県の南部を背後圏としています。ここでは、24時間体制で荷役作業を行い、迅速で丁寧な貨物の取り扱いを行っています。充実した港湾機能と荷役態勢を完備し、質の高いサービスを提供。伊万里港としての特徴を発揮し、西九州の物流拠点としての重要な役割を果たしています。

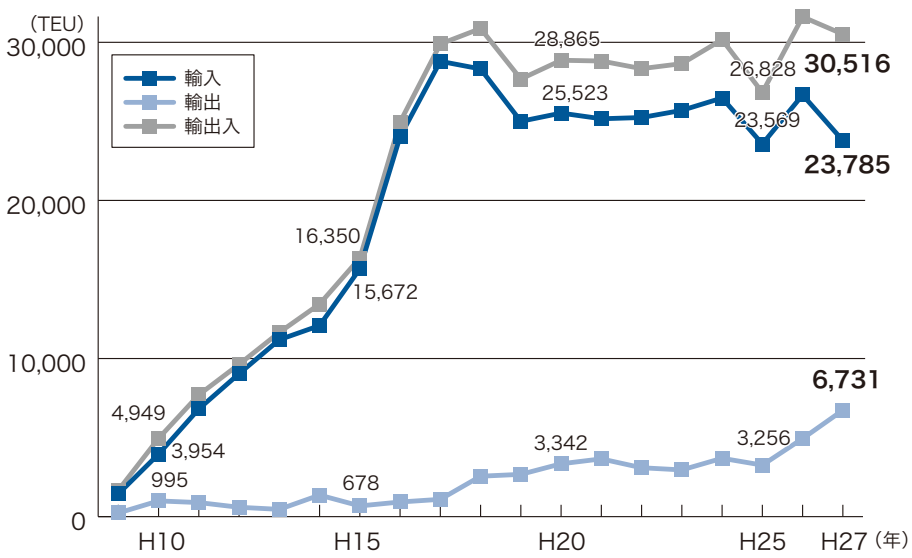
伊万里港国際コンテナターミナル全景

## コンテナ貨物の取り扱い

伊万里港のコンテナ貨物取扱量は、平成9年から順調に推移しています（【グラフ1】）。平成27年の取扱量は、輸入（品目別は【グラフ2】）が2万3785TEU（※）、輸出（品目別は【グラフ3】）が6731TEUで、合計3万5516TEUです。これは、九州では博多港、北九州港、志布志港（鹿児島県）に次ぐ第4位の取扱量となっています。しかし、輸入量に比べ輸出量が少なく、効率的な運用を行うためには、この差を解消する必要があります。

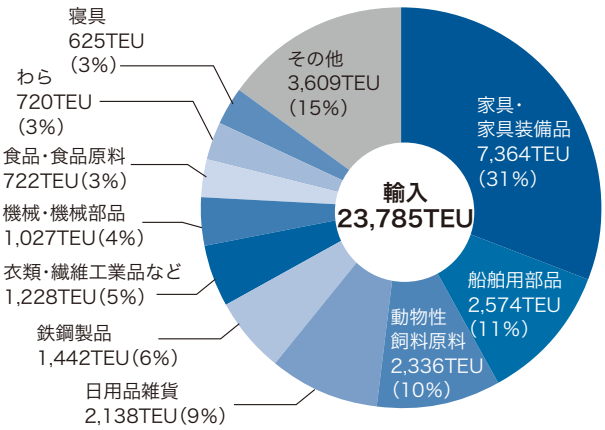
※TEU…コンテナ取扱量の単位

**【グラフ1】コンテナ貨物取扱量推移（実入）**

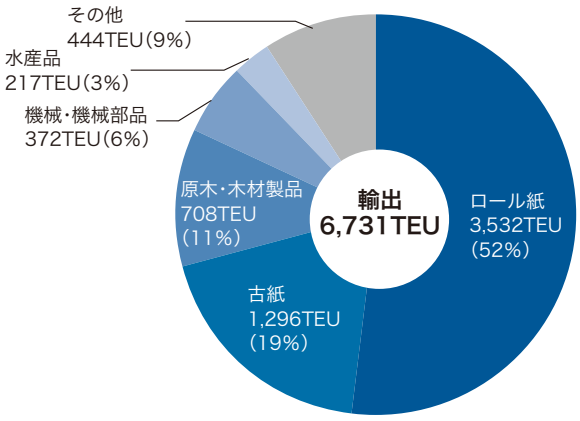



輸入は、競合する他港がコンテナ貨物の取り扱いを開始したことや景気の落ち込みによる影響などはありますが、順調な推移を示しています。輸出は、平成25年度に創設した助成金制度を活用した新規・既存の荷主が増えたことなどから、増加傾向にあります。

**【グラフ2】平成27年 品目別取扱量（輸入）**




**【グラフ3】平成27年 品目別取扱量（輸出）**




## ■ 佐賀県伊万里港振興会

佐賀県伊万里港振興会は、官民一体となって輸出入貨物の集荷や航路の開拓・充実などを行っています。伊万里港の利用を促進し、国際貿易港として発展することを目的として、平成11年8月に設立しました。

**【佐賀県伊万里港振興会の概要】**

● **会員数**　30社・団体

※会長：佐賀県知事、副会長：伊万里商工会議所会頭・伊万里市長

● **活動内容**

▷輸出入貨物の集荷促進に関する事業
荷主訪問、セミナーの開催など

▷航路誘致の開拓・充実に関する事業
船社・代理店訪問など

### 荷主に伊万里港の利点の生かした具体的な提案を行っています

荷主に伊万里港を利用していただくためには、まずは伊万里港の存在を知り、選択肢の一つに入れてもらう必要があります。これまでの地道な広報活動により、伊万里港の知名度は徐々に上がってきていると感じます。また、物流にかかるコストは海上運賃だけでなく、倉庫の保管料や陸送運賃など、さまざまな条件で変わってきます。条件を詳しく聞き、荷主にとっての伊万里港利用の利点を、具体的に提案しています。集荷地域に製造業などの企業が多い伊万里港には、潜在的な荷主は多いと考えており、今後も積極的な集荷活動が必要です。

佐賀県伊万里港振興会
集荷対策部会　部会長
草野　浩輔（こうすけ）さん

※伊万里港の詳しい内容は、佐賀県伊万里港振興会ホームページでご覧になれます。 伊万里港 検索

## 定期航路の概要

伊万里港の国際コンテナ定期航路は現在、中国や韓国の主要港との間に4航路、神戸港との国際フィーダー航路が1航路の合計5航路・週5便が運航しています（【表】）。国際フィーダー航路では、世界的なハブ港（※）である神戸港を経由して、北米やヨーロッパなど世界中との貨物輸送が可能です（釜山港を経由する航路でも可能）。

※ハブ港…目的地まで貨物を輸送する時に、拠点となる港。いったんハブ港へ運ばれた貨物は、積み替えをして目的の港へ運ばれる

【表】国際コンテナ定期航路

| 航路 | 寄港地・寄港曜日 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 華南・韓国航路（中国・韓国） | 香港 | 黄埔 | 蛇口 | 厦門 | 釜山 | **伊万里** | 釜山 |
| | 木 | 金 | 土 | 日 | 水 | **木** | 日 |
| 大連・青島航路（中国） | 大連 | 青島 | **伊万里** | 国内各港 | 大連 | | |
| | 金 | 土 | **月** | - | 木 | | |
| 上海航路（中国） | 寧波 | 上海 | **伊万里** | 福山 | 国内各港 | | |
| | 金 | 土 | **月** | 火 | - | | |
| 釜山航路（韓国） | 釜山 | **伊万里** | 熊本 | 長崎 | 釜山 | | |
| | 木 | **金** | 土 | 土 | 日 | | |
| 国際フィーダー航路 | 神戸 | **伊万里** | 神戸 | 海外（台湾・北米など） | | | |
| | 金 | **土** | 月 | - | | | |

### ■ 定期航路の特徴

伊万里港の定期航路は、地理的・地形的な優位性やコンテナターミナルの運営体制により、貨物の輸出入に適しています。

- **輸入貨物の国内最初の寄港地**
  上の【表】のとおり、国際フィーダー航路を除くすべての航路で貨物の国内最初の寄港地が伊万里港です。海上輸送にかかる時間が短くなることで、荷主はより早く貨物を受け取ることが可能です。
- **静穏でスケジュールが安定**
  港は天候の影響で入港できないことがあります。伊万里港は内海で穏やかなためそのような場合が比較的少なく、スケジュールが安定しています。
- **24時間体制の荷役作業**
  コンテナ船はスケジュール上、深夜に入港することがあります。伊万里港では24時間体制で荷役作業ができるため、迅速な積み下ろしが可能です。

荷役作業の様子

## 伊万里港の『未来』

### ■道路網の充実

現在、コンテナターミナルの位置する七ツ島工業団地へのアクセス道路は1本しかありません。しかし、周辺ではコンテナ貨物取扱量の増加に伴い、コンテナ積載車などの大型車両の交通量が増加しています。また、朝夕の出退勤時刻を中心に工業団地へ通勤する車両が集中し、慢性的な交通渋滞が発生しています。その解消のため、臨港道路七ツ島線や国道204号バイパスの整備が進められています。

昨年2月に西九州自動車道唐津伊万里道路の南波多谷口インターチェンジ（IC）が、3月には伊万里松浦道路の山代久原IC～今福IC間が開通しました。さらに女山トンネルや国道498号若木バイパスなど、陸路輸送の要となる道路網の整備が着実に進められており、北部九州における物流拠点として今後ますますの発展が期待されています。

南波多谷口ICの開通式

### ■浦ノ崎地区の用地活用の可能性

浦ノ崎地区には、土木工事で発生した土砂などの埋め立て用地があります。埋め立て完了後の土地活用は現在、活用の有無を含めさまざまな可能性の検討が進められています。例えば、工業団地を造成して企業を誘致したり、コンテナターミナルを建設したりすることなどが考えられます。

このように、伊万里港は未来へ向けて大きく発展する可能性を秘めています。

### ■来年は開港50年

これまで伊万里港は時代の流れとともにさまざまな役割を果たし、現在も国際貿易港としての存在感を世界に向けて示しています。来年、開港50周年という節目を迎えるにあたって、皆さんも今一度ふるさと伊万里の港の魅力を改めて認識し、世界に向けてアピールしてみませんか。